

快挙！ 人権ポスター

「令和3年度 人権尊重の意識を高めるためのポスター」において、3年生のO. G. さんの作品が、中学校部門で「特選」を受賞しました。おめでとうございます。

この作品は、夏休みに美術科の非常勤講師松本先生が開いていた絵画教室や家庭で、時間を掛けて取り組んだものです。

本を読んでいる人物を上から描いている斬新な構図で、『「正しく知る」差別をなくす第一歩』というスローガンが掲げられています。今まで繰り返し積み上げてきた「人権・同和教育の学習」が、形となって生かされているすばらしい作品です。特に、持っている本の白紙のページに「正しく知る」と書いてあることが絶賛されていたようです。

皆さんも、この作品に込められたOさんの思いに触れてみてください。

作品について

私は人権について学んできて、「知らないことは、人を傷付け、ときには命も奪ってしまうことがある」と強く感じます。人権について友達と一緒に話し合くと、互いを更に知ることができ、気持ちも近づきます。私はそんな時間や空間が好きです。

「正しく知る」ことは、自分自身が大切にしている友達、家族、地域や学校など、すべての人が幸せになることにつながると考えています。一人一人が小さな一歩を歩むことで、みんなで「差別がない社会」を目指したいです。

私と一緒に、みんなで差別をなくす一歩を踏み出しませんか。

受賞後のコメント

「特選」をいただき、大勢の中から選ばれ認めていただけたことが素直にうれしいです。また、小学生から高校生まで私の他に4名と一緒に表彰を受け、作品を描いた気持ちを発表しました。それぞれの人が作品に込めた「差別がなくなるように」という思いや願いが伝わってきました。そして、同じ思いを持っている人がいるのだと心強く感じました。この賞に恥じない行動を取っていきたいと思います。

審査員の講評

「正しいことを知らないことで、無自覚に新しい差別を生んでしまうかもしれない。みんなで学び、みんなが正しい知識を持つことが、差別解消につながる。」「自分もしっかり学んで、差別をしない大人になりたい。」真っ白なノートの上にレタリングされた力強い文字からは、そんなOさんの決意が伝わってきました。このように「伝わる」ポスターを制作するためには、自分の考えと作品を客観視し、表現を修正し続ける意識が必要ですが、人物を上から捉えた構図、ノートの白さを際立たせる配色、髪の毛やシャツの丁寧な描き込みなどを見ると、Oさんが、自分の伝えたいことがどうしたら伝わるかをしっかり考え、何度もアイデアスケッチを行って、工夫・改善しながら丁寧に制作していることがわかります。「伝わる」ポスターであることに加え、作者の制作に対する真摯な意識や態度にとっても好感が持てる、特選にふさわしい作品です。

なお、3年生のI. M. さんの作品は、「優秀賞」、T. M. さんの作品は「入選」となりました。おめでとうございます。



【11月の主な予定】

- 8日（月）3年生実力テスト
北宇和高校三間分校体験入学
- 9日（火）3年生実力テスト
学校保健委員会（救急救命法講習）
- 10日（水）新入生一日体験入学
- 13日（土）・14日（日）愛媛県新人体育大会
・バレーボール部男子（対 雄新中）
八幡浜市民スポーツセンター
9：30～
- ・軟式野球部（対 今治日吉中）
東予運動公園野球場
9：00～
- 17日（水）繰替休業日
※ 文化祭前日準備の繰替休業日
- 19日（金）期末テスト発表
- 20日（土）文化祭前日準備
- 21日（日）文化祭
- 22日（月）繰替休業日
※ 文化祭の繰替休業日
- 29日（月）30日（火）2学期末テスト